

## 税理士法人横須賀・久保田 代表社員退任のご挨拶

謹啓 初夏の候となりましたが、皆様におかれましては、ますますご隆昌のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて 私儀

平成二十九年六月三十日をもって弊法人の代表社員を退任致しました。昭和三十二年四月一日 横須賀博が創業した税理士事務所に入所して以来今日までの六十年余、横須賀博と共に「お客様へのサービスが全て」をモットーに歩んで参りました。

その間、平成十四年九月には税理士事務所を法人化し、税理士法人横須賀・久保田と改組し、更に平成二十六年五月十五日には、私が横須賀博の後任として代表社員に就任しその職責を担ってまいりました。

いま、六十年余の長い歴史を振り返るとき、かつて所得税の申告所得の公示制度が行われた当時、日本一の高額所得者が弊法人のお客様であったこと、更に、全法人の1%足らずと言われていた優良申告法人制度には弊法人のお客様の数十社が表敬の荣誉に浴したことなどが忘れえぬ事案として心に残っています。

そしていま、変革のときを迎え、税理士法人として更なる成長の道を歩むために本年六月三十日をもって代表社員の任を久保田一成に委譲することに致しました。

久保田一成は、税理士・公認会計士の他に中小企業に対して専門性の高い支援を行う認定支援機関の責任者としてお客様の為にお役に立つ情報を提供し続けるでしようにし、更には、柔軟な思考力をもった社員税理士である澤栗巖が知識 経験 情報を駆使して、また、経験豊富なユニットリーダーである徳文洋や、宮川昇を中心とした頭脳集団が結集して久保田一成を補佐し、今以上の最高のサービスの提供を約しますので、どうぞ、従来に増して変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、こうしてつつがなく今日を迎えられたのもひとえに皆様のご指導とご厚情の賜と深く感謝申し上げます、代表社員退任のご挨拶と致します。

「ありがとうございます。」

謹言

平成二十九年六月三十日

税理士法人 横須賀・久保田

税理士 久保田 勝一